

## 開催概要

参考資料 4

日時：2023年11月17日（金） 13:00～15:30

開催場所：オンライン

参加者：123名（関係者：20名、一般参加者：103名）

開催内容：①次期計画指針の説明、②講演・取組事例等の紹介、③パネルディスカッション、④若者からのコメント

## 開催報告

### ①次期計画指針の説明

### ②講演・取組事例等の紹介

<第1部：行動変容の必要性についての講演>

宇都宮大学 国際学部国際学科 教授 高橋 若菜 氏

一般社団法人エシカル協会 代表理事 末吉 里花 氏

<第2部：循環型社会形成につながるライフスタイルに向けた取組の紹介>

株式会社メルカリ 経営戦略室 政策企画

鹿児島県 曾於郡 大崎町 環境政策課

宮城県 仙台市 環境局 廃棄物企画課

お笑いコンビ「マシンガンズ」・ゴミ清掃員 滝沢 秀一 氏



\* 上段：左から高橋教授、環境省、メルカリ、末吉氏

\* 下段：左から仙台市、大崎町、滝沢氏

### ③パネルディスカッション（\*傍聴者の質問・意見に対して登壇者6名が回答・意見を発信）

→ 循環型社会形成に向けた消費者の行動変容について、幅広い選択肢（エシカル消費、3Rなど）の共有や、推進に向けた仕組み作りなどに対する意見交換がなされ、行政・企業・消費者が連携していくことの重要性が指摘された。

### ④若者からのコメント

宇都宮大学・UU3Sプロジェクト

Japan Youth Platform for Sustainability

→ 資源循環について、途上国と先進国、国と地方、市民社会と企業などが相互に学び合うことや消費者のエンパワーメントの重要性、動脈産業へのアプローチの必要性等についてコメントがあった。また、サプライチェーンの透明性向上や地域の優良事例の活用、消費者が「社会は変えられる」という意識をもって働きかけることの大切さやどのような行動が持続可能な社会につながるのか一人ひとりが考えること、また、「作る責任・使う責任」に加え「捨てる責任」も注目されるべきとのコメントが出された。